

### インターンシップの概要

[実施] 2017年

[参加学生] 愛知淑徳大学 メディアプロデュース学部  
3年 稲浦萌子さん

[実施期間] 83日間

[従事時間] 8時間

### インターンシップ先

[企業名] [株式会社ハウジングアイチ](#)

[所在地] 西尾市

[事業内容] 住宅の建築・設計・施工



## ◆参加のきっかけ

私は、大学で設計の勉強をしているのですが、1年前に大学を通じて株式会社ハウジングアイチを知り、5日間のインターンシップを行いました。その際に、住宅を作っている会社が「人」にこだわって仕事をしていることに興味を持ちました。私も、社会に出る前に、「人」によりそう仕事でそのスキルを磨き、今よりも成長したいと考えたのが今回の長期実践型インターンシップに挑戦したきっかけです。社会にない新しいサービスを創っていく現場に携わることは、私にとって大きな挑戦でありチャンスです。

## ◆こんな仕事を体験しました

プロジェクトリーダーとして経営者の右腕になり、発達障がいのお子さんをお持ちの御家族のために、住宅設計やリフォームを行う新規事業の立ち上げに取り組みました。半年間で70日を超えるインターンでは、御家族や学校、病院などへヒアリングでのニーズ調査や、関係者との打合せへの参加、事業の広報物の制作など、仕事の内容は多岐に亘りました。特に印象に残っているのは、親御さんへのインタビューです。いろいろと貴重なお話を伺うことができました。

## ◆ こんな先輩社員と会いました

担当していただいたのは、経営者の鬼頭ゆか社長です。鬼頭社長は、相手の気持ちや要望をしっかりと聴き取ることができる方です。さらに、その要望に応えようとする想いの強さと、応えるための力も持ち合わせていると感じました。とても尊敬できる方です。

また、社員の方にも、私にも、いろいろな挑戦させてくれます。その挑戦をやりきるまでサポートしてくれて、やり遂げたときには褒めてもらえたことが嬉しかったです。インターンでは、その考え方や人柄を間近で感じることができました。



## ◆ インターンシップの学び

仕事の内容だけではなく、報告連絡相談や、信頼関係の築き方、優先順位の付け方、伝わりやすいコミュニケーションの方法など、仕事の進め方で必要とあることについて多くを学ぶことができました。しかし、一番の自分の変化は「人生観」です。インターンシップに参加するまでは、ただ自分がやりたいことをやって、何となく時間が過ぎていました。

このインターンシップを終えて、目の前の課題をただこなすのではなく、もっと広い視野で考えて、社会の課題と捉えようと考えられるようになりました。自分の学びや成長を社会に返したい、次の行動につなげていきたいと思えるようになったことは、私にとっての大きな変化です。



## ◆ インターンシップの流れ

- 8:00 **出社**  
社長と1日の流れなどを打ち合わせ。開店に向けて、清掃や書類の整理を行う
- 10:00 **開店**  
来店されるお客様の対応。
- 10:30 **外出**  
病院や学校を訪問して、事業説明とニーズのヒアリング。
- 12:00 **昼食**
- 15:00 **ミーティング**  
社員で集まって、仕事の情報を共有。  
日によっては、1日ヒアリングに出ていることも。
- 17:00 **閉店作業**  
1日の仕事の振り返りをして終了。